

第15回全国シンポジウム

「地域推薦卒医学生の卒前・卒後教育をどうするか？」

～地域卒1期生医師からの示唆～

2024年3月1日(金)

於：ハイブリッド開催 会場:一橋講堂(東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内)
オンライン:ZOOM配信

今年で第15回となりますオンラインでの全国シンポジウムを開催させていただきました。

今回のテーマは「地域推薦卒医学生の卒前・卒後教育をどうするか？」～地域卒1期生医師からの示唆～ということで、各大学・医療機関、行政、一般など全国から多くの方々にご参加いただきました。

2010年度から本格的に設定された地域卒医学生の定員は年々増加し、一定の人数が臨床の現場に出始めています。過去の本シンポジウムでは、地域卒医学生の教育手法および離脱予防を含めたキャリア構築について議論し、地域卒制度の運用に関する課題についてある程度の結論は得られました。地域卒制度の導入により、地域の医師数は確実に増えてきていますが、令和7年度以降は、医学部定員削減の中で、地域卒医学生の定員の見直しが進められています。

地域卒に関しては平成30年より「キャリア形成プログラム運用指針」が医政局より出され、離脱者も減少傾向にありますが、ようやく来年度義務終了を迎える地域卒医師が出てまいります。そこで今回は、テーマを～地域卒1期生医師からの示唆～とし、意見交換を行いました。

現状や問題点について把握する良い機会になったのではないのでしょうか。

ご参加いただきました方々、本当にありがとうございました。

～プログラム～

日時：2024年3月1日(金曜日) 13:00～16:30

開催方法：ハイブリッド開催 会場:一橋講堂(東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内)
オンライン:ZOOM配信

参加費：無料

参加者：地域卒医学生に関する事象に携わる自治体・大学・学生・医療機関並びに
地域医療教育に興味のある方々、地域医療支援センター関係者など

司会：永田 康浩(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 地域医療学分野 教授)
大脇 哲洋(鹿児島大学大学院 離島へき地医療人育成センター/地域医療学分野 教授)

13:00 開会挨拶 開催趣旨説明

～シンポジウム～

13:05 基調講演:「医師偏在対策・医学部臨時定員について」
厚生労働省医政局医事課 主査 染谷 拓郎 様

13:35 「研修医・専攻医の状況 地域卒制度の効果」
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
地域医療学分野/離島へき地医療人育成センター 教授/センター長 大脇 哲洋

13:50 「鹿児島大学での調査結果『地域卒医師の専攻取得とキャリアの現状と個別の意見』」
鹿児島大学病院 地域医療支援センター 副センター長 東 桂子 先生
鹿児島大学医学部医学科5年 河野 裕佳

- 14:05 休 憩(20分間)
- 14:25 「医師としての魅力 ～地域卒生から専攻医へのあゆみ～」
新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院 特任助教/医長 杉田 萌乃 先生
(新潟大学 2015年卒業 地域卒卒業生1期生 消化器内科専門)
- 14:40 「地域卒入学から15年 血液内科医としての地域医療との関わり」
岐阜大学医学部附属病院 第一内科(血液・感染症内科) 金田 裕人 先生
(岐阜大学 2014年卒業 地域卒卒業生1期生 血液内科専門)
- 14:55 「わたしのキャリア形成 -義務中に離島で見つけたやりたい医療-」
社会医療法人健友会 上戸町病院 総合診療科 医長 本石 裕也 先生
(長崎大学 2014年卒業 地域卒卒業生1期生 総合診療科専門)
- 15:10 「離島から世界をねらうとは？」
鹿児島大学大学院 消化器疾患・生活習慣病学分野 豊留 孝史郎 先生
(鹿児島大学 2015年卒業 地域卒卒業生1期生 消化器内科専門)
- 15:25 休 憩(10分間)
- 15:35 討 論
- 16:30 終 了

※発表内容をお知りになりたい方は、「離島へき地医療人育成センター」までご連絡ください。



司会



染谷 拓郎 様



大脇 哲洋



東 桂子 先生



河野 裕佳 さん



金田 裕人 先生



本石 裕也 先生



豊留 孝史郎 先生



討論



質疑応答